

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第29号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年3月8日 10時20分ごろ	
発生場所	鹿児島県奄美市山間港戸玉地区 嘉徳二等三角点から053° 3,690m付近 (概位 北緯28° 14.1' 東経129° 26.0')	
事故等調査の経過	平成22年5月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 平和丸、409トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 133558、奄美産業開発有限会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、四級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船尾船底凹損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、捨石約600トンを積載し、山間港戸玉地区の導流堤北方沖を北東進中、平成22年3月8日10時20分ごろ、船底が浅瀬に接触したような軽い衝撃を感じた。</p> <p>本船は、そのまま続航し航行を続けた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の末期、海面 平穏</p>	
その他の事項	<p>本船は、船首約2.8m、船尾約4.0mの喫水であった。</p> <p>平成22年4月、入渠して上架したところ、船底に損傷が発見された。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、山間港戸玉地区北方沖を北東進中、レーダーやGPSプロッターで船位の確認を行わなかったものと考えられる。
原因	<p>本事故は、本船が山間港戸玉地区北方沖を北東進中、レーダーやGPSプロッターで船位の確認を行わなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	